

# インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：4月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）  
松林洋一（APIR 首席研究員）  
野村亮輔（研究推進部）  
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail:nomura-r@apir.or.jp

## ポイント

### ●4月都道府県別訪日外客数と訪問率の早期推計\*

#### ▶4月の関西2府8県別に訪日外客数(推計値)をみると

(表1及び図1)、福井県4人、三重県22人、滋賀県22人、京都府830人、大阪府1,144人、兵庫県183人、奈良県388人、和歌山県33人、鳥取県13人、徳島県7人となった。いずれの府県の訪日外客数も前年同月比-99.9%となった。減少幅は前月から更に拡大し、ほぼ蒸発している状況である。

▶運輸局別では(表1)、北海道267人、関東1,520人、中部352人、近畿1,216人、九州295人となった。

#### ▶4月の訪問率(推計値)を関西2府8県別にみると(表2及び図6)、

福井県0.1%、三重県0.8%、滋賀県0.8%、京都府28.6%、大阪府39.4%、兵庫県6.3%、奈良県13.4%、和歌山県1.1%、鳥取県0.5%、徳島県0.3%となった。前月から訪問率が上昇したのは京都府、大阪府、奈良県、鳥取県、一方低下したのは福井県、三重県、滋賀県、兵庫県、徳島県であった。なお、和歌山県は横ばい。

### ●4月発表データのレビュー

▶JNTO 訪日外客数推計値(表3及び図7)によれば、4月総数は2,900人(前年同月比-99.9%)となり、7カ月連続のマイナス。単月の値としては1964年の統計開始以降で過去最少となった。多くの国で海外への渡航制限が行われ、日本でも入国時の検疫強化や査証(ビザ)の無効化などの措置の対象国が拡大されたこと等が影響したようである。

▶国・地域別をトップ5でみれば、韓国が300人(前年同月比-99.9%)、台湾が300人(同-99.9%)、米国が300人(同-99.8%)、中国200人(同-100.0%)、ベトナムが200人(同-99.6%)と、各国で大幅な落ち込みが見られた。なお、TOP5のうち、韓国、台湾、ベトナムは感染者拡大の抑制に比較的成功している。

▶東アジアの伸び率をみると中国、台湾、香港は3カ月連続、韓国は10カ月連続のマイナス。COVID-19の感染拡大による影響は4月に入り一層厳しくなった。来月以降もしばらく訪日外客が皆無の状況が続こう。

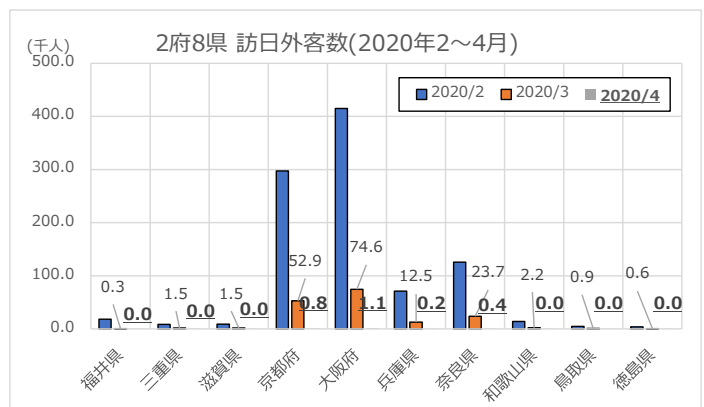
表1 都道府県別訪日外客数の早期推計表

■府県ベース	訪日外客数			単位:人	
	2020/2	2020/3	2020/4	19Q4	20Q1
福井県	1,831	302	4	14,928	7,099
三重県	8,643	1,514	22	59,714	31,511
滋賀県	8,862	1,541	22	59,714	32,172
京都府	297,283	52,937	830	2,142,234	1,097,702
大阪府	414,784	74,602	1,144	2,911,049	1,512,728
兵庫県	70,902	12,529	183	455,318	253,816
奈良県	125,732	23,678	388	903,172	457,447
和歌山県	13,742	2,188	33	104,499	53,381
鳥取県	4,712	874	13	29,857	16,643
徳島県	3,944	577	7	29,857	15,511

■運輸局ベース	訪日外客数			単位:人	
	2020/2	2020/3	2020/4	19Q4	20Q1
北海道	83,685	17,237	267	500,103	282,652
関東	580,631	102,741	1,520	4,015,755	2,113,279
中部	137,424	23,939	352	1,030,064	510,936
近畿	449,596	79,876	1,216	3,157,369	1,643,817
九州	105,828	19,441	295	671,781	375,326

注:全目的(観光・レジャー目的以外も含む)の訪問率をもとに訪日外客数を推計している。なお、地方単位(運輸局ベース)で推計される訪問率と訪問者数は、地方内の複数訪問を1回とカウントしているため、都道府県の訪問者数を単純に合算した値とは異なることに注意。シャドウは実績値。

図1 都道府県別訪日外客数の3カ月比較図



注:数値は最新月の予測値。

\* 早期推計は以下の手順で行われている。まず、四半期ベースの都道府県訪問率を月次化し、それを用いて時系列モデルを推計、その6カ月予測を行う。これに訪日外客数(JNTO)を乗じて、月次ベースの訪日外客数を推計している。訪問率の実績値が発表されるまでは、このルーティンが繰り返される。本手法は当研究所の日本経済月次予測で用いている超短期予測のアイデアを応用しており、詳細な推計方法については Trend Watch No.54(2019年5月)参照のこと。

トピックス

●4月関西国際空港：訪日外客数の動向

▶4月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は、401人で過去最低値となった。伸びは前年同月比-99.9%大幅減少し、前月の同-95.1%からマイナス幅はさらに拡大した(図2及び図5)。COVID-19の感染拡大を受け、4月以降外国人の上陸拒否対象地域が広げられた影響が出たようである。なお、法務省は4月29日に外国人の上陸拒否対象地域を87地域、また5月16日には100地域に拡大した。今後対象地域の急速な緩和が期待できないため、訪日外客の戻りはさらに後ずれする可能性が高い。

●経済ショックからの回復の比較

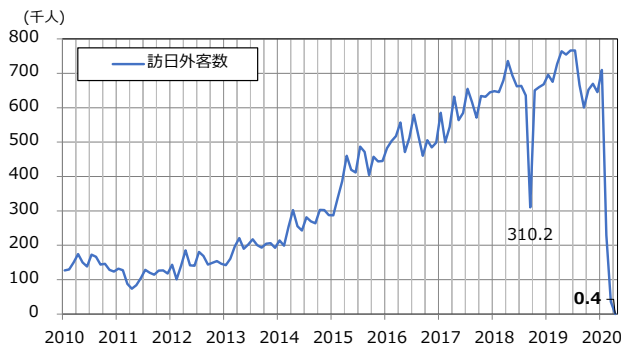
▶関西4月の貿易動向を見ると、COVID-19感染拡大による世界経済減速の影響が輸出入ともにみられた(図3)。輸出額は前年同月比-5.5%減少し、2カ月連続のマイナス(前月:同-5.2%)。輸入額は同-2.2%減少し7カ月連続のマイナスだが、減少幅は前月(同-4.2%)から縮小した。対中輸入の増加が影響している。結果、関西の貿易収支は3カ月連続の黒字となったが、貿易総額(輸出入合計)は昨年9月を除けば16カ月連続で縮小している。

▶地域別の貿易動向をみると(図4)、関西4月の対中輸出額は前年同月比+4.2%増加し2カ月ぶりのプラス。対中輸入額は同+22.1%増加し7カ月ぶりのプラスに転じた。輸入増に寄与した品目は織物用糸及び繊維製品、通信機が大幅増加した。マスクと携帯が寄与している。

▶4月の関空への訪日外客数は前年同月比-99.9%大幅減少し、3カ月連続のマイナス。2019年の関西での外国人消費額は1兆615億円と推計(APIR)されることから、4月のインバウンド需要の損失額は884.1億円(=10,615/12×0.999)と推計される。結果、2-4月期インバウンド需要の損失合計は2,309.2億円となる。なお、5月も訪日外客の上陸拒否対象地域が拡大されており、4月と同程度の減少幅が続くと仮定すると、4-6月期の損失合計は2,608億円に増加する。

▶関空訪日外客入国者数の動態をリーマンショック期、東日本大震災期と今回の3つの時期で比較してみよう(図5)。4月の落ち込みは3月を超えるマイナス幅であった。世界的に人の移動が制限されていることに加え、日本でも入国時の入国規制強化により、有効なワクチンが開発されない現状では、しばらく今月と同等の大幅減が続こう。

図2 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:KANSAI 空港レビュー及び大阪入国管理局関西空港支局より筆者作成。  
2020年4月値は速報値(図5も同様)。

図3 関西 対世界貿易の推移

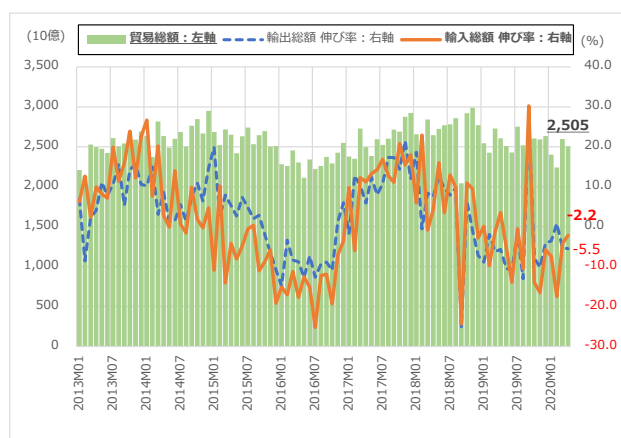
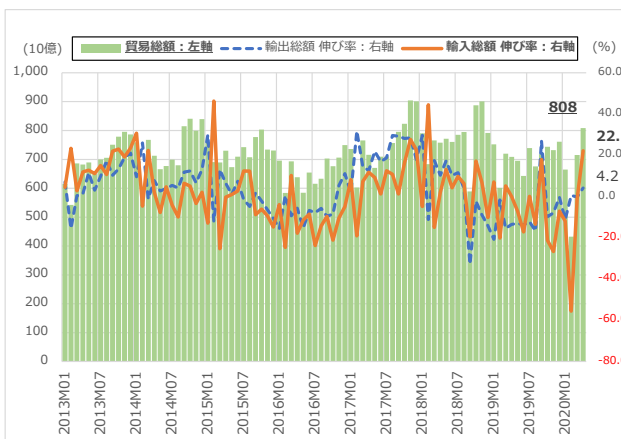


図4 関西 対中貿易の推移



出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図5 経済ショックからの回復の比較

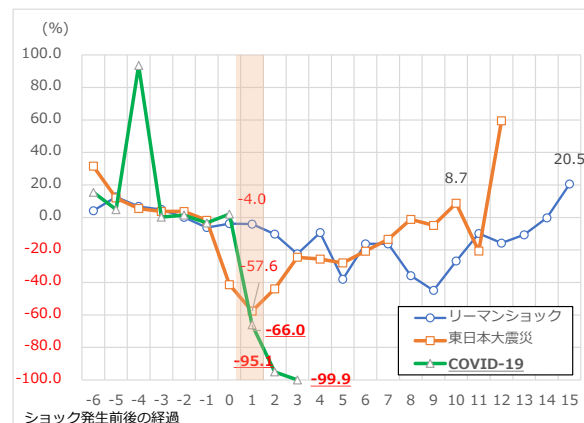


表2 月次訪問率の早期推計表

訪問率	単位:%				
	2020/2	2020/3	2020/4	19Q4	20Q1
■府県ベース					
福井県	0.17	0.16	0.15	0.20	0.16
三重県	0.80	0.78	0.76	0.80	0.78
滋賀県	0.82	0.80	0.76	0.80	0.80
京都府	27.40	27.33	28.61	28.70	27.33
大阪府	38.22	38.51	39.44	39.00	38.51
兵庫県	6.53	6.47	6.32	6.10	6.47
奈良県	11.59	12.22	13.39	12.10	12.22
和歌山県	1.27	1.13	1.13	1.40	1.13
鳥取県	0.43	0.45	0.46	0.40	0.45
徳島県	0.36	0.30	0.25	0.40	0.30
■運輸局ベース					
北海道	7.71	8.90	9.20	6.70	8.90
関東	53.51	53.04	52.43	53.80	53.04
中部	12.66	12.36	12.12	13.80	12.36
近畿	41.43	41.24	41.92	42.30	41.24
九州	9.75	10.04	10.16	9.00	10.04

注: シャドウは実績値

図6 月次訪問率の推移

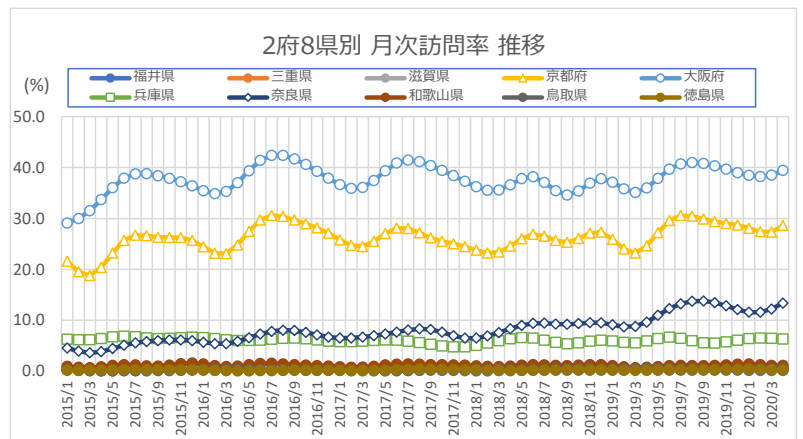


表3 2020年4月 訪日外客数 (JNTO 推計値)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年 4月	2020年 4月	伸率(%)	2019年 1-4月	2020年 1-4月	伸率(%)
総数	2,926,685	2,900	-93.0	8,053,797	3,939,800	-51.1
総数(韓国・その他除く)	2,212,671	1,460	-99.9	7,923,214	3,293,390	-58.4
韓国	566,624	300	-99.9	2,647,397	477,700	-82.0
中国	726,132	200	-100.0	2,895,449	1,022,600	-64.7
台湾	403,467	300	-99.9	1,593,227	689,700	-56.7
香港	194,806	10	-100.0	699,852	344,880	-50.7
タイ	164,817	30	-100.0	512,754	215,320	-58.0
シンガポール	36,704	10人未満	-100.0	129,169	54,830	-57.6
マレーシア	46,092	20	-100.0	164,766	74,740	-54.6
インドネシア	39,768	100	-99.7	136,476	69,700	-48.9
フィリピン	69,266	50	-99.9	188,700	104,270	-44.7
ベトナム	55,295	200	-99.6	177,928	111,300	-37.4
インド	18,376	30	-99.8	57,667	22,400	-61.2
豪州	70,504	50	-99.9	243,400	142,690	-41.4
米国	170,247	300	-99.8	542,671	214,000	-60.6
カナダ	38,897	50	-99.9	123,032	52,680	-57.2
メキシコ	8,222	60	-99.3	20,466	9,370	-54.2
英国	44,537	30	-99.9	128,255	49,800	-61.2
フランス	46,005	10	-100.0	108,130	41,310	-61.8
ドイツ	27,829	10人未満	-100.0	81,230	28,640	-64.7
イタリア	24,062	10人未満	-100.0	50,948	13,150	-74.2
ロシア	13,787	20	-99.9	37,405	20,720	-44.6
スペイン	13,858	10人未満	-100.0	31,689	11,290	-64.4
中東地域	13,352	20	-99.9	32,644	7,070	-78.3
その他	134,038	1,100	-99.2	377,227	164,640	-56.4

図7 訪日外客数 推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)、2020年5月20日付より筆者加工